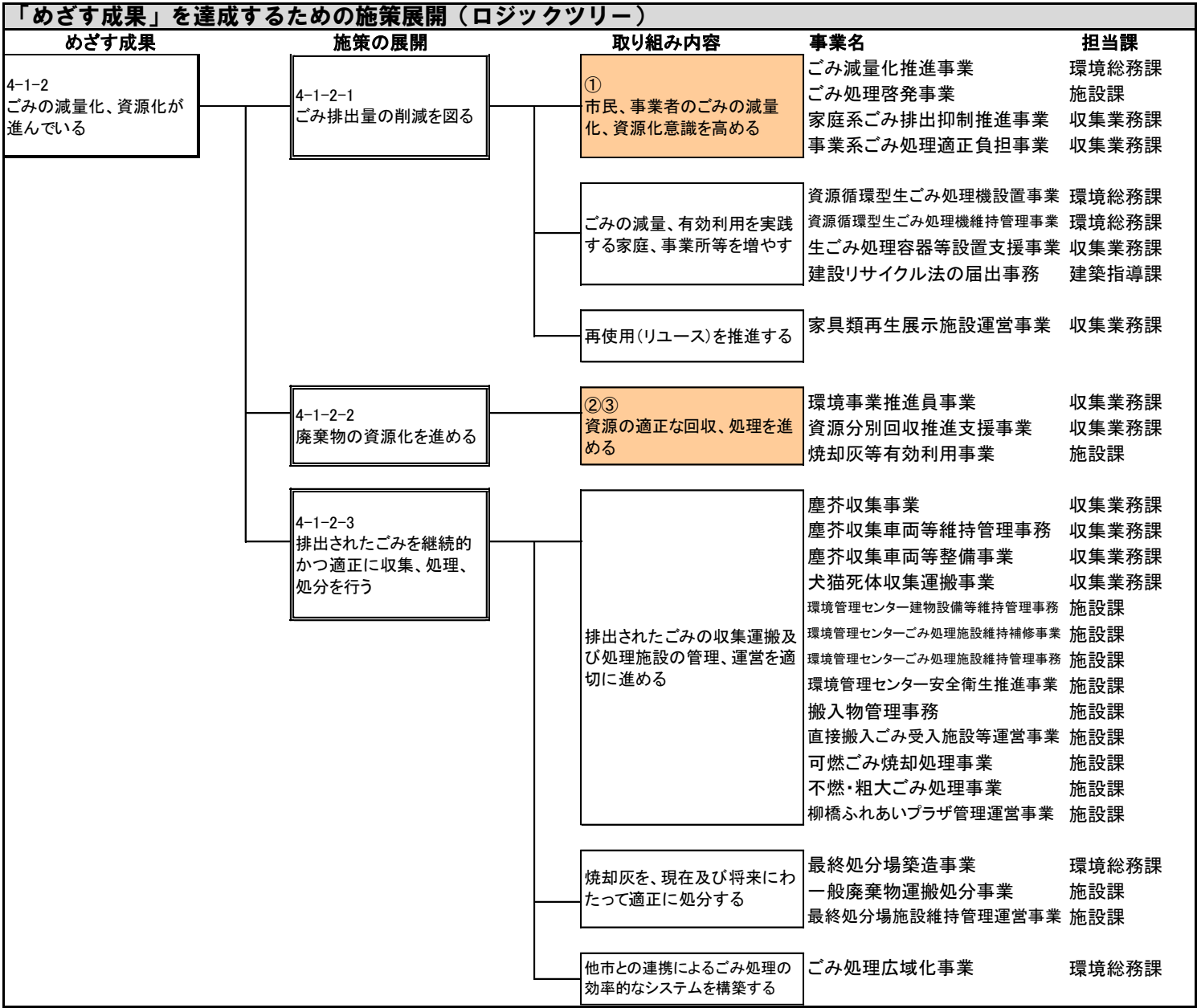


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
4－1－2　ごみの減量化、資源化が進んでいる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・環境を守り育てるまち
	個別目標	地球にやさしく活動する
	めざす成果	ごみの減量化、資源化が進んでいる
		ごみの減量化、資源化が図られ、処理されるごみの量が減っています。また、ごみの収集や焼却処理、資源化処理が適正に行われています。



成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 市民一人1日あたりのごみ排出量			457g	448g	443g	420g	412g
	② リサイクル率	24.3%	27.4%	22.5%	22.2%	23.4%	30.0%	32.0%
	③ ごみ焼却灰の資源化率			29.3%	36.4%	51.4%	45.0%	55.0%

所 管 部	環境農政部	
平成27年度までの取り組み内容	【ごみ排出量の削減を図る】 ・市民まつり、産業フェアへのブース出店やFMやまと、広報やまと等により、ごみの減量化、資源化の啓発を行いました。 ・生ごみ処理容器等を購入・設置された市民へ購入費の一部助成や、家庭系有料指定ごみ袋制度を継続して実施しました。 【廃棄物の資源化を進める】 ・平成26年度に2,494 t、平成27年度に3,516 t の焼却灰を有効利用し、路盤材等の土木資材原料として資源化処理しました。 【排出されたごみを継続的かつ適正に収集、処理、処分を行う】 ・「環境管理センター新一般廃棄物（ごみ）処理施設維持補修計画」に基づき、ごみ焼却処理施設及び粗大ごみ処理施設の維持補修を実施しました。 ・排出されたごみの処理を適正に行うとともに、平成26・27年度、併せて7,691 t 焼却灰を埋立処分しました。	
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・平成27年度に改定した一般廃棄物処理基本計画に位置付けている剪定枝の資源化や、焼却灰の全量資源化等の施策を推進することによりごみの減量化、資源化を図っていきます。 ・家庭の資源とごみの分け方・出し方パンフレットや広報やまと、スマートフォン用アプリ等を活用して、ごみの減量化・資源化及び出し方のルールの周知啓発を行います。 ・焼却灰の資源化推進のため、資源化施設の調査や資源化量の拡大に取り組みます。 ・焼却灰の資源化推進に伴い、埋め立て処分の縮小を図ります。 ・ごみ焼却処理施設及び粗大ごみ処理施設を安全で安定的に運転していくため、計画的に維持補修を実施することが必要です。 ・生ごみ処理容器等の設置支援事業は、ごみの排出抑制やリサイクル意識の啓発に繋がるため、今後も継続していきます。 ・資源の持ち去りに対するパトロールや近隣市と連携した資源の持ち去り防止を図ります。	
注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
今後の展開方針		
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充	・焼却灰の全量資源化に向けて、資源化量を拡大していきます。 ・剪定枝の資源化に向けて、実施手法の検証などを行います。	(該当する事務事業) ・焼却灰等有効利用事業 ・ごみ減量化推進事業
事業の廃止・縮減	・焼却灰の全量資源化に伴い、埋立処分量を縮小していきます。	(該当する事務事業) ・一般廃棄物運搬処分事業
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)